



オーライ! ニッポンニュース

平成25年1月17日号

「オーライ!ニッポン」は、都市と農山漁村の間の“人・もの・情報”の往来（おうらい）を盛んにして、日本全体が元気（All right）になることをめざす運動です。
発行者：オーライ!ニッポン会議

「駿河湾越しに望む富士山の雄姿は地域の宝」 写真提供：NPO法人戸田塩の会（静岡県沼津市）

第10回オーライ!ニッポン大賞 受賞者のご紹介

都市と農山漁村の交流に関する優れた取組を表彰する「第10回オーライ!ニッポン大賞」（オーライ!ニッポン会議と農林水産省の主催）の表彰式が、平成24年11月10日（土）に東京国際フォーラムで開催されました。



安田喜憲審査委員会長の講評（左）と、語り部の平野啓子副代表からの祝辞（右）

以下、受賞者の取組概要をご紹介します。受賞内容の詳細はホームページをご覧ください。
→<http://www.ohrai.jp/index.html>

オーライ!ニッポン大賞グランプリ （内閣総理大臣賞）

- 震災復興・地域支援サークル ReRoots
（一般社団法人 ReRoots）



（宮城県仙台市）
仙台市若林区東部の農業地帯で津波被害からの復旧・復興・将来の地域おこしに取り組む。スタッフの9割が大学生。参加したボランティアは延べ

15,000人（平成23年7月から24年9月まで）、支援先農家は130軒を超えた。農地に埋まる多数のガレキを、農業機械を痛めないようにスコップを使って手作業で取り除き、作付けも支援。農業

機械が流されたため機械の貸し出しも。昨年11月、若林区被災農家の野菜等を販売する店舗「りるまあと」を仙台朝市にオープン。営業は毎週土曜日9:00~16:00。

オーライ!ニッポン大賞

- 千葉市教育委員会（千葉県千葉市）



市内全小学校の6年生を対象に「農山村留学」を実施。夏季休暇中に長野県実施校は4泊5日で農山村を訪問し、受入地域の人々との交流や、ホームステイ、

農業、自然、郷土文化、食など様々な体験を通じて「生きる力」を育む。参加児童は過去12年に長野県だけで累計約1万人。24年度は長野県の20地区に23校1,181名が参加。千葉県でも2地区に5校がホームステイを実施した。

- NPO法人戸田塩の会（静岡県沼津市）



海水と薪だけで塩をつくるコミュニティビジネス。1,500年前の記録を頼りに試行錯誤で製法を確立。美しい海を守るため、海岸を定期清掃、

薪には間伐材を利用、塩の販売収益を森づくりに寄付している。地域内外の小中学生や観光客を対象に紙芝居と採塩体験を行い、食や環境の大切さと地域の誇りを語りついでいる。

- (株)巡の環（島根県海士町）



平成20年に当時まだ20代の若者3名の1ターン移住者が設立。島の資源を活用した企業向けの社員研修プログラム「海

士五感塾」は、島民との交流を通じて課題解決のヒントが得られると好評を得ている。高齢者の智慧を書き記した「あまのききがき」を4冊出版。

オーライ!ニッポン大賞 審査委員長賞

- NPO法人シニア人財倶楽部（福島県いわき市）



市内中山間地域に借りた農地で、市内都市部に暮らすシニア世代の参加を得て野菜や米を生産し、都市部の「買い物難民」や仮設住宅に暮らす被災者等に移動

販売している。そば打ち体験等のイベントを毎年実施して両地区の交流を促進。風評払拭に向け各種の復興イベントに積極的に参加、市の動画配信「いわき農産物見える化プロジェクト」にも協力。

- ふくしまキッズ実行委員会（福島県鮫川村）

福島の子どもたちを放射線の不安から解放し、



子供らしい笑顔と元気を取り戻させたいと活動を開始。受入先は北海道、神奈川県、愛媛県、長野県、岐阜県へと拡がり、2011年夏から2012年夏まで計4回のプロ

グラムに1,870名が参加。単なる避難ではなく、野外を含む体験活動や交流を通じた教育事業として展開している。

- NPO法人銀座ミツバチプロジェクト

（東京都中央区）



都市と自然環境との共生をめざして東京・銀座のビルの屋上でミツバチを飼育。とれたハチミツを、パティシエやホテルの料理長など銀座の様々な人材の技で

スイーツや化粧品など様々な人気商品に。ミツバチは農業に弱い「環境指標動物」であることから、

巡の環『僕たちは島で、未来を見ることにした。』を出版

第10回オーライ!ニッポン大賞受賞の(株)巡の環が、これまでの経験等を綴った著書を木楽舎より出版。

「社会が変わるとき、自分たちはどこに居たいだろうか」

彼らの答えは島根県の離島でした。

書店等で好評発売中。

定価 1,890円（1,800円+税） ISBN978-4-86324-056-8 C0030



環境に配慮した農業に取り組む全国10以上の地域と交流。全国15か所以上のミツパチプロジェクトとも連携。

● 摂南大学ボランティア・スタッフズ
(大阪府寝屋川市)



過疎化・高齢化が進む和歌山県すさみ町と摂南大学が包括連携協定を締結。「イノブータン王国建国祭」や「すさみケンケンかつお祭り」など3年間13回のイベントに、延べ370名の学生がスタッフとして参加。山間部の廃校で、大阪の子どもたちを対象にした「忍者キャンプ」を開催。消滅が危惧された山間部の伝承行事を継承。高齢者の困りごと解決のための「なんでもやろう隊」。

● NPO 法人土佐の森・救援隊 (高知県日高村)



小規模林業向け技術の開発と普及、木質バイオマス利用システムの構築、及び地元協力店で地場産品と交換できる「モリ券」を特徴とする「土佐の森方式」により、都市住民を含む森林ボランティアが林業に参入しやすい環境をつくり、地域雇用の増加と林業・山村の再生に取り組む。同方式は全国約35地区で導入され、東日本大震災の被災地にも普及しはじめている。

オーライ! ニッポン ライフスタイル賞

● 海藤節生さん (宮城県七ヶ宿町)



仙台出身。町主催の交流事業に参加して地域の自然や人々に感銘を受け、平成19年に移住。ピザ屋を営業しながら、都市住民が森林や木に触れあひながら学べる「七ヶ宿・山がっこ」、小中学校と連携した体験学習等に取り組む。石巻市の津波被災地で、ボランティアのための宿泊所の改装、ガレキの撤去、被害木を使ったバス停づくりなどの支援活動を展開。

● 手嶋真二さん (山口県下関市)



還暦同窓会で故郷の魅力を再認識。実家の隣にログハウスを建て、2年間の二地域居住を経て完全移住(Uターン)。隣接する山林が台風被害で荒廃したため、地主の依頼で購入し、英国庭園風のオープンガーデンとして再生させる。現在は約2,000坪の庭が完成し、市内外からの訪問客(24年は900名)と交流。「きくがわ花守隊」を結成して会長に就任し、ガーデン教室の開催、障害者や高齢者との交流など活動の輪を拡げている。

の経営者にご協力をいただき、宿泊されたお客様にアンケートを実施しました。

本研修会では、その分析結果を用いて、マーケティングからみる農林漁家民宿の経営戦略を解説し、民宿の魅力を引き出す方法について提案します。また、持続可能な農山漁村社会を構築する要となる後継者の課題について、規制緩和型民宿制度を利用して農家民宿を開業した若者や農林漁家民宿の若き後継者による「これからの農林漁家民宿」についての提言、さらに東洋大学青木先生の元気の出る講演を行います。

【日時】
平成25年1月30日(水)
13:00~17:50(18時から交流会)

【場所】
TKP大手町カンファレンスセンター
(東京都千代田区大手町)

【参加定員】
120名(定員となり次第締切)

【参加費】
無料
※交流会参加は自己負担(4,500円)

【内容】
◆マーケティングからみる農林漁家民宿の経営戦略とは(仮題)
中島康夫(株)電通 シニアコンサルタント
◆農林漁家民宿の魅力を引き出す方法
横田純子 NPO法人素材広場理事長
◆事例発表「若者が語る『これからの農林漁家民宿』」
・河津美香さん
「さこんうえの蛙」(熊本県南小国町)
※おかあさん100選の宿の後継者



・石田 吏さん
「自然食泊 愛里」(岐阜県郡上市)
※登録農林漁家民宿、おかあさん100選の宿の後継者



・峯岸祐高さん
「COLOT」(埼玉県所沢市)
※埼玉県第一号の規制緩和型民宿



【その他】
◆申込方法等の詳細についてはホームページをご覧ください。
→<http://www.ohrai.jp/library/lowcarbon/jdr02800000f2eit.html>
◆翌日のオプションツアーin山梨県道志村もあわせてご参加ください。

農林漁家民宿研修会オプションツアー
in 山梨県道志村 (1月31日)

【日程】
平成25年1月31日(木)
※添乗員同行。日帰りバスツアー
【募集定員】
40名(最少催行人数20名・先着順)
【旅行代金】
大人お一人様7,000円
【視察内容】
①道志村の「木の駅プロジェクト」
「間伐材の循環する村づくり」による森林再生事業として、「道志の湯」のボイラーに間伐材を使用。
②道の駅どうし
電気自動車用の充電装置を提供。
③農林漁家民宿お母さん100選「北の勢堂」
築150年の茅葺きの養蚕農家を活用した農家民宿で昼食をいただきます。川魚を囲炉裏で焼くなど「昔の田舎」の雰囲気を楽しめます。



【その他】
ツアーの詳細はホームページをご覧ください。
→http://www.kouryu.or.jp/trip/tour/minshuku_optionaltour.html

グリーン・ツーリズム商品のマッチング大会!(予告)

グリーン・ツーリズム商品の開発や流通促進をめざし、グリーン・ツーリズムに取り組む地域の皆様と旅行会社等をマッチングする交流会の開催を企画中です。グリーン・ツーリズムや観光に関わる関係者等と旅行会社等による相談会を兼ねた研修会・ワークショップ・名刺交換会等を企画しています。グリーン・ツーリズム商品コンテスト(募集終了)の優秀賞を決定する公開オーディションも併せて実施します。

詳細は今後の検討によって変更されることがありますが、現在の検討企画素案は次のとおりです。

- 開催時期:平成25年3月上旬の2日間
- 場所:都内
- 参加費:無料
- 参加対象者
グリーン・ツーリズム関係者、観光関係者、商工会、旅行業界、地域活性化に興味やグリーン・ツーリズムに興味を持っている方々



スト2011優秀賞「『走れメロス号』に乗って奥津軽の美味を味わう~おらほの味まん列車~」

農林漁家民宿魅力アップ研修会

~持続可能な農林漁家民宿経営を目指して~
1月30日都内で開催

農林漁家民宿の経営を考える際、改善でなく魅力のアップ、つまり何が強みであるのかを明らかにし、その魅力の源泉である強みを活かすことが重要です。

そこで、何が強みであるかを再認識するため、おかあさん100選の選定者及び農林漁家民宿

発行者 都市と農山漁村の共生対流推進会議(愛称:オーライ!ニッポン会議)
〒101-0042 東京都千代田区神田東松山下町45 神田金子ビル5階(財)都市農山漁村交流活性化機構内
TEL03-4335-1985 FAX03-5256-5211 info@ohrai.jp <http://www.ohrai.jp>